

釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）

開催日時	平成 29 年 10 月 25 日(水) 18:30～19:50
会 場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	12 人
出席議員	渡辺慶藏 議長 梅津則行 議員（議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会） 大澤恵介 議員（総務文教常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会副委員長） 戸田 悟 議員（経済建設常任委員会委員、水道事業審査特別委員会委員） 工藤正志 議員（民生福祉常任委員会副委員長、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）

意見	今年度から文部科学省が全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を小数点以下は公表しないこととした。釧路市教育委員会はいままで小数点以下も公表していたが、今年度は文部科学省にあわせて小数点以下を公表しなかった。釧路市は全国で唯一、基礎学力保障条例を制定しており、北海道教育委員会が学力向上策を打ち出したときには、北海道で一番に手を挙げたのに、なぜ小数点以下を公表しないのか。公表すべきではないか。
大澤議員	総務文教常任委員会において小数点以下も公表すべきとの議論があった。今後も議論を深めていきたい。

質問	衆議院議員総選挙の年代別の投票率が市ホームページに掲載されていないのだが、まだ確定していないのか。
大澤議員	選挙管理委員会事務局に確認する。

意見	中学生模擬議会はとてもよい取り組みだと思うが、釧路市の 18 歳・19 歳の投票率はほかの自治体に比べて低いと思うので、全国やほかの自治体と比べてどうなのかを分析してほしい。その結果、低いのであれば、主権者教育というものをもう少し前倒しして投票率を高めるなどの建設的な議論をするためにも、数値をいち早く公表していただきたい。
----	--

質 問	<p>基礎学力保障条例が制定されたことで学力はどうなっていったのか。また、教育委員会はどう動いているのかということが市民に伝わってこない。</p> <p>梅津議員は当時基礎学力保障条例に反対していたので、反対したほうの意見を聞きたい。</p>
大澤 議員	<p>本条例は努力目標であり、北海道の平均値をクリアすることが目標となっているが、北海道は全国の平均値をクリアすることを目標にしているので、結果的に全国の平均値をクリアすることが目標ということになる。教育委員会は目標達成に向けてさまざまな取り組みを行っているが、十分な成果が出ているとは言いがたい。教育推進基本計画は今年度が更新時期であるので、その中でさらに議論を積み重ねていかなければならないと感じている。</p>
梅津 議員	<p>条例が出来たからには条例に基づいて行政が進めるべきという立場である。賛成しなかった理由はさまざまあるが、一番は基礎学力の定義が自分の考えと違っていたということである。基礎学力が必要なのは当然のことであるが、基礎学力をどういうふうに捉えるかという部分で、その当時は文部科学省の考え方とは違っていたので賛成しなかった。</p>

質 問	<p>地域公共交通網形成計画の検討時に意見交換等があり、今後どうしていくかはこれから様子を見て決めていくということだが、どういったものを基準にしていくのか。</p>
大澤 議員	<p>公共交通網は、基本的にはバス会社が担っており、バス会社は民間業者なので赤字路線は廃止したいという思いがあると思う。その中で、市民の足となるべき公共交通であるバスをどう考えるかという基本的な考えの中で、他都市の例を参考にしながら基幹の道路を定め、そこに大きな拠点をつくってハブ化するという作り方をしている。基幹の拠点になるバス停をどこにするかを皆さんから意見をいただきながら模索している。</p>

意 見	<p>まちづくりにおいてコミュニティから意見を聞くということで、町内会の役割等についての議論があった。市内にはおよそ 180 のコミュニ</p>
-----	--

	<p>ティがあるが、町内会だけでなく、ほかのコミュニティに対して意見聴取や意見交換をしているのか。NPOや法人化しているところくらいは意見を聴取してはどうか。</p>
大澤議員	<p>コミュニティは町内会のほかにもサークルなどたくさんあるが、一番代表的なコミュニティは何かという流れの中で、連合町内会にお願いして意見の集約を図った。ほかのコミュニティをないがしろにしているわけではなく、市役所としては例えば地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、無作為のアンケートも実施しており、幅広く市民の意見を抽出する努力をしていると思う。</p>
梅津議員	<p>市議会では議会報告会のほかに、各常任委員会においてさまざまな団体と意見交換会を開催しているので、その中で本意見をしっかりと伝えていきたい。</p>

意見	<p>どこにどのような町内会があるのかわからない。市ホームページにも掲載されていないので、わかるような地図があるとよいと思う。</p>
工藤議員	<p>市ホームページなどで市民にわかりやすく周知するよう、民生福祉常任委員会の中で議論したい。</p>

質問	<p>IRについて、情報発信は誰がどういう形でやっていて、釧路市はどこを目標としているのか。また、IRの導入を検討している他都市は既に事業者と接触があったようだが、釧路市においてはそういった接触はあったのか。また、なぜ阿寒湖畔なのか。</p>
戸田議員	<p>情報発信については、釧路観光コンベンション協会とNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構が、観光立国ショーケースや阿寒国立公園満喫プロジェクト等の動きと連動しながら、市や各地と連携して行っている。IRについては、阿寒湖畔の自然とマッチングし、富裕層を対象にした滞在型で、アイヌ文化などと融合した形にしたいというのが行政の考えである。既に運営をしている会社と協議し、常に情報共有しながらやっていくが、まだ国の動きが明確でないため、確定ではない。</p> <p>NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構が阿寒湖畔の将来を考え、自然とアイヌ文化を生かしたIRを阿寒湖畔にといい思いがあり、経済界がその意向を受けて一緒になって誘致に動いてきた。釧路</p>

	市は東北北海道の拠点都市としての役割がある。十勝から網走までの範囲で釧路市が基軸となりいろいろな動きをしながら、東北北海道の拠点としてみんなで協力して進めている。
--	---

意見	観光立国ショーケースは、阿寒湖畔を中心に進められており、地域で温度差がある。選定されたチャンスを生かして、いろいろな取り組みを地域ごとに、例えば音別はフキ、大楽毛は馬など、それぞれの歴史や特性をアピールしていけば資源の一つに転化していくのではないか。地域ごとにいろいろな資源があるので、そういった部分の活用も観光立国ショーケースの候補等にしてほしい。
戸田議員	大楽毛については議会の一般質問でも議論しており、馬産は歴史であり観光振興につながるものである。音別のフキ紙については私自身も発言している。観光立国ショーケースには準備が間に合わなかったため、今、行政センターと経済界で準備を進めている。

意見	都心部まちづくり計画は、市の都市計画の担当部長が北海道から出向で来ているくらいなので本腰が入っていると思う。駅周辺の整備で高架化の問題もあるが、計画の段階で市民の意見を取り入れてほしい。
大澤議員	駅高架化については、無作為のアンケート実施のほか、市の職員が朝の通勤・通学の時間に駅前アンケート用紙を配布するなどして400人以上から意見を聴取している。また、地区連合町内会単位で市内5～6カ所の会館でワークショップを開催し、地図を見ながらどこの道路を接続したらよいかなどといった議論をしたり、北大通の商店街ともワークショップを開催しているほか、商工会議所でも細かい議論をしている。ただ、和商市場など、さまざま関連するところの方々とも議論を深めていかなければならないと感じている。
戸田議員	都心部まちづくり計画と地域公共交通網形成計画は、コンサルタントに委託して協議している。お互いに協力しながら、年度末にどのような方法がよいのか結論を出すことになっている。

意見	高速道路が阿寒ICまでつながったことで人の流れが変わった。釧路西ICまで早くつながるよう力添えをしてほしい。
----	--

戸田議員	まだ開通されていない部分については、国のほうで調べた結果、地権者との調整が困難な土地がたくさんあることがわかり、それを全部調べて結果を出すには非常に時間がかかる。国が進めていることであり、最終的には3年くらいかかるだろうと言われているが、間違いなくつながる。
------	---

意見	IRの問題について、カジノは阿寒湖畔でよいが、中心市街地に何か違う形態のものを考えていけたらよいのではないか。
----	---

意見	クルーズ船の入港について、着岸する付近のエリアの景観が、廃墟ビルが多かったり、歩道の植栽柵の草が伸びたままになっていたりして、外国人観光客から見たら寂しい感じがすると思う。地域のコミュニティを結集してまちを盛り上げるという意識をつくっていけたら、もっとまちが変わっていくのではないか。
----	--

戸田議員	街中の草木や街路樹の整備は予算が限られている。最近、企業の皆さんが社会貢献としてボランティアなどの協力体制をつくっていただいており、みんなで街をきれいにしながら観光客を迎えていこうという考え方で進めている。
------	---

意見	道路を走っていると、政党の看板が目につく。今はかなりきれいになったが、学校や公園の土地に一人の看板が5枚も6枚もあつたり、各政党が競うように看板を立てていたりする状況だった。しかもそれが朽ち果てて倒れ、大風が吹くと飛んでいくという事態だった。また選挙で同じようなことにならないかと心配している。公共の土地に無断で立てるのはやめて、きれいな道路にしてほしい。
----	--